

# 新約聖書

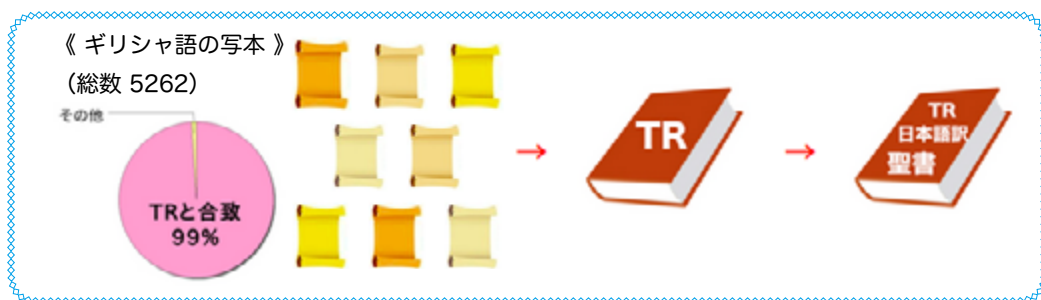
《TR 日本語訳》

新約聖書

エターナル・ライフ・ミニストリーズ

## 【2017年版 改訂新版】

- ★ 旧版（2014年版）が、より適切な訳語・訳文に改訂されました。
- ★ 文字：旧版の全一巻の文字より大きくなり、読みやすくなりました。
- ★ ルビ：おもな難読漢字にはルビ（ふりがな）が付けられています。
- ★ ページ数：従来の全344ページ（全一巻）から、全480ページへと大幅に増えました。★ サイズ：A5版
- ★ 表紙カラー：グレー・ライトピンク・ブルー・ホワイトの4種よりお選びください。
- ★ 原文：ギリシャ語新約聖書本文 TR（テキストゥス・レセプトゥス）新約聖書の本文 TR が、歴史を通じて保持されてきた神のことばです。



## ● TR 聖書本文と非 TR 聖書本文の比較と検証（『聖書のホームページ』より一部要約抜粋）

★ウィルバー・N・ピッカリング博士

### ■ (1) 科学的にあり得ない本文事例…ルカ 23・45

★ TR 聖書本文の読み方《ギリシャ語》「エスコティセイ」（暗くされた）

《訳例》「そして太陽は暗くされ…」（TR 日本語訳 新約聖書） 「かくて陽は暗く…」（新契約聖書）  
「And the sun was darkened」（K J）

★非 TR 聖書本文の読み方《ギリシャ語》「エクリポントス」（[日蝕・月蝕] 蝕（しょく）になった）

《問題点》太陽の日蝕（日食）は、満月の時には、あり得ません。日食が起こり得るのは、新月の時だけです。イエス様が十字架に付けられたのは過ぎ越しの祭りの時であり、過ぎ越しの祭りはいつでも満月の時です。（そのためにイースターの日付が変わるのです）非 TR 聖書本文は科学的なまちがいを引き起こしています。

### ■ (2) キリストを「偽り者」としている本文事例…ヨハネ 7・8

★ TR 聖書本文の読み方《ギリシャ語》「ウーポ」（まだ…しない）

《訳例》「私は、まだこの祭りには上って行きません」（TR 日本語訳 新約聖書）

「我は未だ此の節会に上らじ」（新契約聖書） 「I go not up yet unto this feast」（K J）

★非 TR 聖書本文の読み方《ギリシャ語》「ウーク」（…しない）

《訳例》「わたしはこの祭には行かない」

「I do not go up to this feast」（N A S）

《問題点》実際にイエス様はその祭りに上って行かれた（しかも、ご自分がそうしようとしておられることを自覚しておられた）ので、非 TR 聖書本文は彼を偽り者としています。

### ■ (3) 明らかな偽りが述べられている本文事例…第一コリント5・1

★TR 聖書本文の読み方《ギリシャ語》「オノマゼタイ」(名が称 [とな] えられる)

《訳例》「異邦人の間でも名を称えられないような淫行」(TR 日本語訳 新約聖書)

「such fornication as is not so much as named among the Gentiles」(K J)

★非 TR 聖書本文の読み方《ギリシャ語》…「該当箇所ギリシャ語」がない

《訳例》「その不品行は、異邦人の間にもない」

「here is sexual immorality among you, and of a kind that does not occur even among pagans」(N I V)

《問題点》父親の妻を妻としている男があり、それは、異邦人でさえ、そのことについて口にする事のないような淫行であると報じられています。ところが、非 TR 聖書本文は、「このタイプの近親相姦は、異邦人の間でも存在しなかった」と断言しています。それは明らかな偽りです。

【その他の事例】フロイド・ノレン・ジョーンズ博士 & ウィルバー・N・ピッカリング博士による。

マタイ1・25 ■重要な神のことば(初子)を削除している事例

マタイ6・13 b ■重要な神のことば(イエス様が王であること)を削除している事例

マタイ19・17 ■オリゲネスの信念(至高善)への改ざん事例

マルコ1・2、3 ■オリゲネスのグノーシスの信念への改ざん事例

マルコ9・43、44 ■重要な神のことば(地獄の描写)を削除している事例

マルコ10・21 ■重要な神のことば(十字架を取り上げること)を削除している事例

マルコ16・9～20 ■重要な神のことば(宣教命令・イエス様の御名の力)を広範囲に削除している事例

ルカ2・14 ■オリゲネスの信念(ギリシャ哲学)への改ざん事例

ルカ2・33 ■重要な神のことば(イエス様の「父」について)の改ざん事例

ルカ4・4 ■重要な神のことばを削除している事例

ルカ9・54～56 ■重要な神のことばを多く削除している事例

ルカ22・64 ■重要な神のことばを削除している事例

ルカ23・38 ■神のことばを削除している事例

ルカ23・42 ■イエス様を主と呼ぶことを削除・改ざんしている事例

ルカ24・42 ■神のことばを削除している事例

ヨハネ1・18 ■アリウス派の異端の教えへの改ざん事例

ヨハネ6・47 ■イエス様を信じることを改ざんしている事例

ヨハネ7・53～8・11 ■重要な神のことばを広範囲に削除している事例

使徒8・37 ■イエス・キリストを神の御子と告白することを削除している事例

使徒9・6 ■神のことばを多く削除している事例

使徒20・28 ■重要な神のことばを改ざんしている事例

ローマ8・1 ■重要な神のことばを削除している事例

ローマ14・10 b、12 ■重要な神のことばを改ざんしている事例

コロサイ1・14 ■重要な神のことば(イエス様の血)を削除している事例

第一テモテ3・16 ■原文に存在しない語を存在させている事例

ヘブル1・3 ■重要な神のことばを削除している事例

ヘブル2・11 ■重要な神のことばを改ざんしている事例

第一ペテロ4・1 ■重要な神のことばを削除している事例

第一ヨハネ5・7～8 ■重要な神のことば(神の三位一体)を削除している事例

マタイ1・7、8 ■間違いであると自認されている事例

マタイ5・22 ■削除により食い違いが生じている事例

マタイ19・17 ■改ざんと削除により食い違いが生じている事例

ルカ3・33 ■架空の名前が登場する事例

ルカ4・44 ■他の箇所の読み方と自己矛盾している事例

ヨハネ6・11 ■削除により食い違いが生じている事例

使徒19・16 ■改ざんにより明白な矛盾を生み出している事例

使徒28・13 ■意味をなさない本文事例

第二ペテロ3・10 ■意味をなさない本文事例

●詳細は『聖書のホームページ』

<http://www.bible-jp.com>

をご覧ください。